



日に日に
仲間とともに成長できる場所。

2027 学校案内

KOKURA NISSHINKAN JUNIOR HIGH SCHOOL

小倉日新館中學校

50年の伝統が育む、
未来を牽引するリーダーの資質。

2024年度に創立50周年を迎え、新たなる半世紀へと歩み出した小倉日新館中学校。
50年の歴史で、4500人を超える卒業生を輩出しました。
これまでも、これからも未来を牽引する人材を生み出し続けます。







日新館の校名は、中国の古書『大学』の一節「日日新又日新」に由来します。

「日に日に新たに、又日に新たなり」の精神のもと、本校の生活信条「自主自律・創造立志」を体現することは、自分で自分の将来を切り拓く原動力になります。

1 自主性

「やらされてやる」から「やりたいからやる」へ。3年生が「1人1役」で引っ張る全校合宿や体育会を通じ、先輩の姿から学び、後輩へと受け継がれるリーダーシップを育みます。



2 自律性

生徒が主体的に運営する行事や日々の規律ある生活を通して、自ら考え、判断し、行動する力を養い、将来にわたって学び続ける自律した姿勢を育てます。



3 創造性

充実した授業数と手厚い個別サポートのもと、日々の学びの中で「創造力」を培い、一人ひとりの進路実現を支えます。

そして、立志へ

自ら動く「自主」、己を律する「自律」、未来を切り拓く「創造」。

本校でこれらの力を身につけた生徒たちは、やがて社会に貢献するという人生の確かな目的である「立志」へと至ります。15歳という人生の節目に、高き志を胸に抱き、未来のリーダーたちがここから羽ばたきます。



15歳の「立志」を支える、3つのアプローチ

確かな学力を築く「学び」、心を磨く「日々」、そしてきずなを深める「行事」。
日新館での三年間では、これらすべてが響き合い、未来を切り拓く力へと変わります。
ここには、他校にはない濃密な時間が流れています。



学習・進路

志望校を自由に幅広く選択できる

本校は中高一貫ではなく、中学校３年間のみの私立中学校です。県立高校を始め、さまざまな私立高校、高等専門学校など、自分の目指す進路に合わせた高校選択ができます。

お互いに切磋琢磨しつつ、励まし合いながら受験勉強をする時間が、生徒のきずなをより一層深めます。







学校生活

社会生活に通じる礼儀と規律を身に付ける

校門で交わされる生徒の明るい挨拶の声で、日新館の一日が始まります。挨拶の励行、授業開始時の「黙想」など、規律を重んじ、中学生としての品位を保つよう生徒が主体的に活動しています。





学校行事

自分たちで考え、話し合い、行動する

学年縦割班編成で自主自律の精神を育成する全校合宿、リーダーシップを育成する２年生の教育合宿、「集団の美」を体現する体育会、その他、文化発表会、マラソン大会、１・２年生の寒稽古などを通して生徒たちの心と体をたくましく磨き上げます。









学校生活
SCHOOL LIFE

小倉日新館中学校の1日。登校から放課後まで、たくさんの気づき

午前 morning


校門では元気な挨拶の声が響きます。
登校


10分間静かに読書をします。
朝読書


授業前に黙想をして、心を落ちつかせて授業に取り組める環境を作ります。
黙想

制服紹介 SCHOOL UNIFORM

ウォッシャブル仕様の生地を使用しているので清潔に保てます。


制服/秋・冬


制服/春・夏


体操服/秋・冬

と学びが溢れています。

午後 》》 afternoon

どの授業も皆真剣に、かつ楽しく受けています。









全員で協力して清掃に取り組みます。





体操服/春・夏



スクールバッグ NEW!

通気性の高いメッシュ素材を採用。また厚手のパッドを入れているので硬い荷物でも背面の当たりを軽減します。





多機能型のポケットや荷物をたくさん入れても口が勝手に開かないオートロック式ファスナーを採用しています。









制帽がトレードマーク

部活動
CLUB ACTIVITIES

学年を超えた仲間と目標に向かって日々精進しています。

剣道部、ハンドボール部、科学部、合唱部、将棋部に、令和７年度から陸上部が加わりました。
文化部を含めて、「文武両道」の精神で、切磋琢磨しています。
仲間と協力する時間はとても大切！部活動での楽しく充実した時間が、日々の活力になります。



■合唱部
2年生 柏原 百恵さん

文化発表会での発表に向けて、後輩と一緒に練習しています。みんなで声を合わせるのは楽しいです。



■ハンドボール部
2年生 坂田 悠真さん

チーム一丸となって、練習に励んでいます。とてもやりがいがあり、心と体が強くなります。ハンドボールを楽しみましょう。



■剣道部
2年生 原槇 航大さん

心身ともに成長します。初心者から始めた人も、経験者も、皆で大会上位を目指してがんばっています。



■陸上部
2年生 松村 侑衣華さん

毎日互いに励まし合いながら練習を頑張っています。タイムが速くなったり、体力がついたりすると、やりがいを感じます。



■科学部
2年生 竹井 康将さん

微生物から物理まで、各班がテーマを決めて研究をしています。個性豊かな部員たちと一緒に、科学賞を目指しませんか。



■将棋部
2年生 津村 瑛太さん

将棋をしたことがない人でも、先生や先輩に教えてもらいながら、楽しく上達します。

部活動成績（令和７年度）

〈剣道部〉
- ●北九州市新人大会　男子団体３位（県大会出場）
- ●北九州市大会　男子個人４位・６位（県大会出場）

〈陸上部〉
- ●小倉北区駅伝新人大会　男子団体準優勝（市大会出場）

〈ハンドボール部〉
- ●福岡県大会出場

〈将棋部〉
- ●文部科学大臣杯福岡県大会　ベスト４

部活動Q&A

Q 校外での活動（スポーツなど）はできますか？

A 本校では「学ぶ」という意味を幅広く捉え、校外での活動も推奨しています。校外でのサッカー、野球、ラグビーなど、地域のクラブに所属している生徒もいます。また、そのスポーツで力を発揮し、高校・大学でも活躍している卒業生もいます。

校外活動
〈水泳部〉　福岡県大会　出場（３名）
〈テニス部〉　福岡県大会　個人戦出場

「師弟同行」の精神で、生徒と共に歩みます。

「面倒見の良さ」と「授業の分かりやすさ」で定評のある日新館の先生達。
常に生徒の為を第一に考え、一人ひとりに寄りそいながら、熱く、優しく、導きます。



先生からのメッセージ
teacher's message



社会科担当
剣道部顧問
藤原　翔太 先生

日新館魂の継承を願って。

私は本校34期生として、小倉日新館中学校で３年間を過ごしました。当時は、所属していた剣道部の練習に明け暮れ、学業との両立にたいへん苦労したものです。でも、今振り返ると本当に充実した毎日でした。もちろん苦しいことも多かったですが、日新館で学んだことは、自分の人生の宝になっています。それはひとえに、互いに励まし合い競い合った仲間や、愛情深く、粘り強く、教え導いて下さった先生方のお陰です。

そんな日新館に恩返しができたらと、本校の教員になった私が、今、母校の教壇に立って願うことは、教え子たちが自分のように文武両道を全うし、自分以上に大きな成長を果たしてくれることです。50年に渡って受け継がれてきた「日新館魂」を、次の世代に継承するのが自分の使命だと思って、日々奮闘しています。

教育課程
EDUCATIONAL CURRICULUM

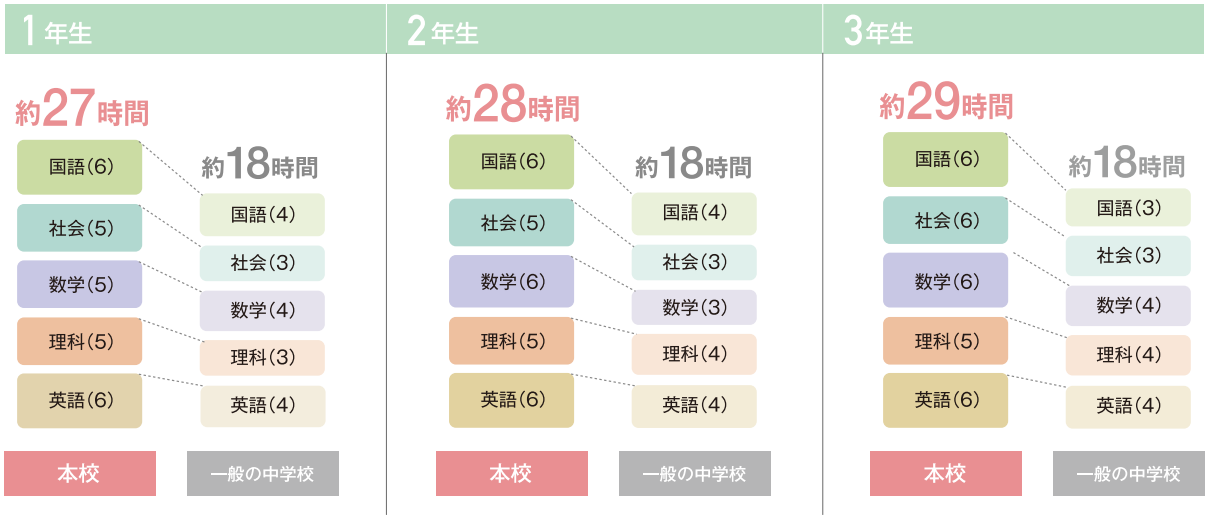
充実したカリキュラムと独自の教育システムで、一人ひとりの学力を確実に伸ばします。

基礎的・基本的な知識・技能の習得と、知識を活用する能力を育成します。また、習熟度別授業・補充授業を充実させ、個に応じた学習指導を徹底します。その上で、思考力・判断力・表現力の伸長に努め、課題学習や自由研究を充実させます。





一般の中学校との5教科の差







私学の特性を生かし、今求められている中学教育を実践します。

学力向上の取り組み

充実した授業数

1日7コマの授業、土曜授業の実施により、公立中学校に比べて授業時数が多く、教科書の内容を隅々まで丁寧に学習することができます。**復習や演習**も授業の中で行えるので、基礎・基本が着実に身に付きます。





きめ細かい学習指導

生徒一人ひとりの学習効果が上がるよう、学習計画の立て方や苦手科目の克服へのアドバイスなどを定期的に行い、主体的に学ぶ姿勢を育成します。また、定期考査の他に、1・2年生は**年5回**、3年生は**年6回**の実力テストを実施し、学力の定着度を測り学習指導に生かしています。

補充授業の実施

日常的な**個別指導**や**質問への対応**の充実に加え、夏休み・冬休み・春休み中には、一部の生徒を対象に**補充学習**を行い、特定の分野を重点的に復習できる機会を設けています。





手厚い検定サポート

英語検定・漢字検定・数学検定を校内で複数回実施しています。個別の対策プリント配付や補習、きめ細かな質問対応でバックアップ。特に英検の二次試験(面接)対策では、英語科教員が本番さながらの**模擬面接**を何度も行い、自信を持って挑めるまで手厚くサポートします。

習熟度別授業

一人ひとりの実態に応じた学習を支援するため、**数学科**と**英語科**において、習熟度別のクラス編成での授業を取り入れています。3学級を**4クラス**に分ける少人数編成で、自分に合ったペースで学べ、学習効果が上がっています。



合格実績
TRACK RECORD

3年間の努力が、希望の進路へ！

主な高校の合格者数（3年間の卒業生 290名中）

●国公立高校合格実績　（単位：人）

学校名	令和5年度（101名）	令和6年度（100名）	令和7年度（89名）
小倉高等学校	41	41	32
戸畑高等学校	8	7	11
小倉西高等学校	4	5	6
小倉南高等学校	1	3	–
東筑高等学校	4	2	1
八幡高等学校	4	8	3
下関西高等学校	–	1	1
北九州工業高等専門学校	7	3	6

●私立高校合格実績　（単位：人）

学校名	令和5年度（101名）	令和6年度（100名）	令和7年度（89名）
久留米大学附設高等学校	–	2	3
灘高等学校	–	1	1
ラ・サール高等学校	2	1	1
早稲田佐賀高等学校	10	6	3
青雲高等学校	6	9	8
弘学館高等学校	10	15	13
愛光高等学校	1	–	1
西大和高等学校	2	1	–

●その他の合格校 ･･･ 東京学芸大附属高等学校・横浜翠嵐高等学校・明石工業高等専門学校・高知工業高等専門学校・京都高等学校・洛南高等学校・立命館宇治高等学校・桐蔭学園高等学校

希望の進路を実現させよう！

志望校合格率　過去3年間 290名▶ 80%以上

卒業生も続々と次の進路へ
（44～46期生）

【国公立】
東京大学（2名）・京都大学（2名）・九州大学（医・工・芸術工・法・経済）・熊本大学・大分大学・鹿児島大学・九州工業大学・福岡教育大学・北九州市立大学・九州歯科大学・山口大学（医学部他）・広島大学（医学部他）・大阪公立大学・北海道大学　他

【私立】
慶應義塾大学・早稲田大学・明治大学・法政大学・中央大学・立教大学・上智大学・関西学院大学・同志社大学　他

Q 弟・姉妹で在校、卒業した生徒が多い？

A 確かに多くいます。兄弟3人が各学年に在学していたこともあります。また、兄・姉が楽しそうに通学する姿を見て、自分も入学を希望したという生徒も多くいます。
近年は卒業生のお子さんが入学することも多くなっています。

Q 遠方から通う生徒も多い？

A 一番多いのは小倉北区・南区などですが、交通の便の良さもあり、八幡西区や若松区などから通う生徒もいます。また、京築地区や、山口県・大分県など遠方からの生徒も少なくありません。

キャリア教育

～夢の実現のために、人生の設計図を描く～

中学校生活の様々な場面で、目標を立て、計画的に行動し、結果を評価し、次の目標につなげるサイクルを確立し、生きる力を育みます。自らの学びを確かめるために「自分史ファイル」（キャリアパスポート）を活用しています。また、進路についての学習を１年次より計画的に行うのに加え、２年次には職場体験学習を実施し、自分の進路を自分で選択する力を養います。











ICT環境

～日々の学びを深く、面白く～

全校生徒分の小型ノートパソコン（クロームブック）を用意し、様々な教科で活用しています。調べ学習や課題の提出だけでなく、画面を共有しながらグループディスカッションをする教科もあります。また、体育科では、録画した映像を見ながら、個人やグループで改善点を考える学習にも活用しています。

〈活用例〉

社会	九州一周旅行の計画をプレゼンしよう
英語	世界遺産を紹介する英語ポスターを作ろう
理科	オリジナル理科クイズで学びを深めよう
技術	生活を便利にするオリジナルWebサイトを作ろう



年間行事
SCHOOL EVENT

心と体を鍛え、連帯感を育む―それが、日新館の学校行事です。

4
●始業式
●入学式
○日新会総会

5
●歓迎遠足
●中間考査

●全校合宿
登山や野外調理に挑戦し、仲間と支え合いながら自立心と協調性を育みます。

6
●期末考査
●清掃活動













10
●体育会
競技や応援に全力で取り組み、全校で「集団の美」を創り上げる伝統行事です。

●中間考査
○日新会懇親会
●招待模試

11
●創立記念日

●文化発表会
学習成果の発表や学年合唱を通して、表現力と豊かな感性を磨きます。

●期末考査

12
●マラソン大会
足立山麓を舞台に自らの限界に挑み、粘り強さを培い、達成感を味わいます。

○学期末個別懇談
●終業式
●冬季補充学習

7

●クラスマッチ
（2・3年生）
○学期末個別懇談
●終業式
●夏季補充学習

8

●始業式

9

●職場体験学習
（2年生）












1

●始業式
●本校入試
●学年末考査（3年生）

●寒稽古（1・2年生）
剣道や合氣道に励み、厳しい寒さの中で心身を鍛え、己を律する力を養います。

●入学予定者オリエンテーション

2

●学年末考査
（1・2年生）

●教育合宿（2年生）
京都での班別研修などかけがえのない思い出ができるとともに、リーダーとしての資質を育てます。

●門司港班別研修（1年生）

3

●卒業式
●清掃活動
○学年末懇談会
●修了式
●春季補充学習

在校生座談会

生徒一人ひとりが主体的に活動し、「考える力」と「人間力」を育む。

小倉日新館中学校では、確かな学力と心豊かで創造性に富んだ人材を目指す教育を行っています。
実際に学ぶ在校生や卒業生が口をそろえて言うのは、「この学校を選んで良かった」という言葉です。
そう思える理由はどこにあるのでしょうか。
また、入学前と比べてどのようなところに成長を感じているのでしょうか。
在校生の中から各学年の代表3名に、それぞれの体験や思いなどを語ってもらいました。

小倉日新館中学校で学ぼうと思ったきっかけは？

池上　小学5年生から塾に通い始めました。塾のテストで志望校を書くところがあって、とりあえず書いておこうみたいな感じで選んだのが「小倉日新館中学校」でした。そこからいろいろ調べたり、説明会を聞いたりするうちに、こういうしっかり教育を受けられる場で頑張ってみたいという気持ちが湧いてきて、最終的にこの学校を選びました。

加藤　姉が小倉日新館中学校の卒業生で、いつも帰ってくると、こちらが口を挟むすきもないくらいずっと学校の話をしていました。それがすごくイキイキしていて、楽しそうで。姉は合宿で団長補佐などを務めていましたが、私もリーダーの役割に楽しさを感じていたので、そういうこともできる学校というのが入学するきっかけになりました。

牟田　私は、小学校の時から小倉高校などの難関校への進学を目標にしていました。中学受験を目指す中で、小倉日新館中学校という校風が良くて学習の支援も手厚い、すごく評判のいい学校があると知って、自分に合っているかもしれないと思ったのがきっかけです。



小倉日新館中学校に入学して良かったと思うことは？

池上　学校行事で、リーダーとして人をまとめる経験がたくさんできました。リーダー研修の場としてすごくいいし、自分がより成長できる環境が整っていると思います。また、先生方が優しくて授業も分かりやすいので、自分に合った勉強方法でちゃんとついていけたことも良かったです。

加藤　授業の内容がすごく充実していて、細かいところまで教えていただけるし、授業が終わってからも気軽に質問に行けます。あとは、教育合宿や九重の全校合宿を生徒主体でやるため、自分で考えて行動できるようにな



湯川小学校出身
〈撮影時〉1年生　牟田　実依奈さん

学級副委員。
1年生の門司港研修で班長を務める。



るという点でも、いい学校だと思います。

牟田　先生方の手厚い指導、そして周りの友達の行事や学習に対する積極的な態度に刺激を受けて、もともと頑張っていた勉強もさらに偏差値を上げられるようになりました。日々の積み重ねが行事でも生かされて、学校全体で積極的に取り組める環境が整っているのが本当にいいと思います。

入学前と自分が大きく変わったことはありますか？

池上　性格がすごく変わりました。以前は猪突猛進な感じでしたが、日新館に入ってリーダーを経験することで、冷静に一旦全体を見てしっかり答えを出していこうという慎重な性格になりました。それに、ちょっと飽き性なところがありましたが、一つひとつのことにちゃんと取り組めるようになったと思います。

加藤　何事においても責任感が芽生えてきたと思います。1年生の時も学級委員長をしましたが、自分がちゃんとクラスを見て、引っ張っていこうという気持ちになったのも入学してからです。また、宿題や教材も忘れなくなって、生活信条の「自主自律」ができるようになりました。

牟田　私はルールやマナーをすごく守るようになりました。小学校の時は、忘れ物は日常茶飯事でしたが、日新館では忘れるということ自体あり得ません。なぜそのルールがあるのか理解し、ルールをちゃんと守ることが当たり前の学校なので、そこは本当に変わったと思います。





将来の夢や目標は？

牟田　これからたくさん勉強して、その結果が実って、やりがいのある職に就きたいと思っています。

加藤　両親が建築士なので、私も建築士になりたいです。家という形で、いろんな人の生活を支えていくのも楽しいだろうなと思います。

池上　小倉高校への進学が決まっています。将来についてはまだ悩んでいる段階ですが、持ち前の想像力に加え、学校行事を通じて観察眼も磨いてきたと思っているので、この世の中に足りないものを創り出せるような人になりたいです。



高見小学校出身
〈撮影時〉3年生　池上　龍伍さん
学級委員長会委員長を務める。

西小倉小学校出身
〈撮影時〉２年生　加藤　祐子さん
学級委員長会副委員長。
教育合宿で生徒団長を務める。

卒業生
インタビュー

勉強だけでなく、「人」として大切な部分がとても成長できた３年間でした。

目指すその先の進路も見据えて、小倉日新館中学校を選んだ古田帆夏さん。
3年間、一緒に頑張る仲間と共に学んだ内容の深さを、
高校生になった今、実感しているそうです。



第49期　小倉高等学校1年生
古田　帆夏さん

授業を受けること自体が楽しくて仲間と切磋琢磨できた3年間でした

小倉日新館中学校を選んだ一番の理由は、友達と一緒に切磋琢磨できる環境で勉強を頑張ろうと決意したからです。入学してみると、みんな休み時間でも机に向かっていて、最初はちょっと驚きましたが、いつの間にか私も感化されていました。

今は小倉高校の１年生ですが、高校で学ぶようになって改めて実感したことがあります。それは、小倉日新館中学校の先生方は、生徒が勉強したくなるような授業の進め方をされているということです。まず身近な話から入り、それも引き付けられる話し方をしてくださるので、自然と積極的に授業に参加したいという気持ちになります。そのため、勉強が苦になることはなく、むしろ授業を受けること自体が楽しかったです。



小倉高校には日新館の卒業生がたくさんいますが、先生から質問されると、「はい！」と手を挙げて積極的に発言する人が多くて、そんなところもちょっと違うなと感じています。

勉強や人間的にも学ぶ内容が深く今は大きな目標を目指し頑張っています

小倉日新館中学校での3年間を振り返ると、勉強だけでなく、人として大切な「礼儀」を学べたことが本当に大きかったです。登下校の際や授業前の挨拶などを何度も指導されるうちに、自然と礼儀が身につきました。

もう一つ、日新館だからこそ小倉高校合格に向けた受験対策がしっかりできたのだと思います。例えば、英語の授業では英作文の練習をたくさんしました。また、国語の作文は自分で添削するのが難しいので、先生に提出して添削していただきました。授業が楽しいだけでなく、分からないところは質問しやすい環境も整っていて、ありがたかったです。

もし公立の中学校に行っていても、勉強を頑張れば小倉高校に合格できたかもしれません。でも、勉強だけでなく人としての部分も含めて、学ぶ内容が全然違っていたと思います。将来は、医学部に進んで心臓外科医になりたいという大きな目標があります。より高いところを目指したいと思えるようになったのも、一緒に頑張れる仲間が集まった小倉日新館中学校で学んだからこそだと感謝しています。

「自主自律・創造立志」を人生の信条に、今もさまざまな挑戦を続けています。

29歳の時に「司法書士のぞみ総合事務所」を開設。
合氣道四段、全国の書店で購入できる9冊の著書を執筆するなど、
現在も「自主自律・創造立志」の精神で幅広く活躍中です。

（第50期　3年生　岡　千栄さん）
岡　信太郎さん
（第22期　司法書士のぞみ総合事務所代表）



先生方の熱心な指導のもと実力をつけながら自分を磨くことの大切さを認識

私が通っていた当時の小倉日新館中学校は男子校でした。ここで学ぼうと思ったのは、合気道をやっていたこともあり、勉強も体も鍛える文武両道の校風がいいなと思ったからです。私立なのでいろいろな地区から通ってくる生徒がいて、とても刺激になりました。みんな一生懸命勉強するので、自分もしっかり勉強しないといけないという気持ちに自然となりましたね。

先生方もとても熱心で、分からないところを質問すると分かるまで付き合ってくださるなど、しっかり鍛えてくださったおかげで、自然と実力がついたようです。

小倉日新館中学校のモットーは、「自主自律・創造立志」。勉強は当然ですが、自分を磨かなければならないということを認識するようになりました。社会で活躍する人材となるためには、やはり人間力が大切です。例えば、挨拶や返事を含めて人としての基本的なこと、あるいは社会の問題を自分で見つけて解決していくこと、人とのコミュニケーション能力など、そういう自分の人間力を磨いていかなければならないという認識が中学時代に芽生えたのは大きかったですね。



今も生きる「自主自律・創造立志」の精神　母校には「選ばれる中学校」になってほしい

司法書士になった今の生活の中にも、「自主自律・創造立志」の信条が生きています。これからの時代、非常に重要になってくるのは新しい提案やアイディアです。AIには、人と人を結ぶ、問題を見つけて解決策を提示する、新たなビジョンを示すといったことはできません。自分でイマジネーションをしっかり働かせて、自分の役割は何なのかを見つければ、社会におけるニーズをつかむことができるし、時代がどうなっても活躍できるでしょう。それを認識できたのは、小倉日新館中学校のおかげだと思っています。

今、娘も小倉日新館中学校に通っています。私が勧めたわけではなく、学校見学で先輩の皆さんが礼儀正しく挨拶してくれたのが決め手の一つになったそうです。自分から行きたいと言ってくれたのが嬉しかったです。まずは楽しく、そしてバランスよくしっかり勉強に励みながら、強くしなやかな心を育んでほしいですね。

小倉日新館中学校には、今後も「選ばれる中学校」になってほしいと願っています。

保護者の声

保護者と教師の連携で、熱い期待に応えます。

学期末には生徒・保護者・教師で「個別懇談」を行い、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を行います。また、保護者と教師が楽しく交流する「懇親会」を年１回開催し、心を一つにして生徒に向き合います。

上級生になるにつれ勉強に取り組む姿勢が変わり、人間的にも成長を実感する日々。



（第48期　矢野　義揮さん）

矢野　義文さん
（第11期　エアラインパイロット）

本人の意思で小倉日新館中学校へ進学。
自主性がついて、どんどん成長していると感じています。

私も小倉日新館中学校の卒業生です。当時は男子校でしたが、今振り返るととても充実した３年間でした。公立中学校とは違って、知らない人ばかり。友達関係を一から構築できたのは、私にとっては非常に良かったと思います。

息子に、小倉日新館中学校を強く勧めた記憶はありません。息子は、「塾の勉強が楽しくて、それで中学受験をしてみようという気持ちになった」と言います。父親の出身校というのもあったようですが、おもしろそうな学校だと思ったそうです。

息子は中学に入って自主性がすごくついたと感じていますし、部活動ではハンドボール部のキャプテンをやっていて、ここでもどんどん成長しています。

自分自身、中学３年間で学んだことが人間性の部分でも役に立っていることは多々あると思っています。例えば、当時の理科の先生が一つのことを集中的にやらせる先生で、おかげで勉強の仕方が変わった気がします。全体的なかさ上げよりも、一つだけボンと伸びたものをつくると、そこで自信がつきます。すると、他の教科も良くなっていきます。何か一つ得意なものをつくると、自信がつくということを実感しました。自信をつけるというのは、社会人になってからも大切なことだと思います。

息子の将来について、特別望むことはありません。将来の目標はまだ決まっていないようですが、私は本人のやりたいことをやればいいと思っています。ただ、どういう方向に進むにしろ、小倉日新館中学校で学んだこと、身に付けたことは必ず役に立つはずです。

（第48期　村上　千恋さん）

村上　美佐緒さん

失敗を恐れず、挑戦し、失敗しても
あきらめない子どもに成長しました。

消極的な性格でしたが、指示を待つのではく、自分からやるべき事を見つけ行動するようになりました。失敗を恐れず、まずは挑戦し、失敗してもあきらめず、原因を考え、最後までやり抜く力がついたと思います。心も身体も逞しく成長しました。

今後も、日新館での学びや、行事を通して鍛えられた礼節や生きる力をより育み、自分の希望や夢に向かって努力を重ね、夢を現実のものにして欲しいです。

（第45期　吉田　謙信さん）

吉田　裕美さん

日新館中学での色々な経験を生かし、
好奇心にあふれた人生を歩んでほしい。

学級委員や合宿の団長を経験させていただく中で、息子は、「一人ひとりの気持ちを汲みながら、一致できる部分を見つけること」を勉強したようです。また、自分自身をコントロールする力をつけられたのも、様々な経験をさせていただけたことにあると思います。

熱心な先生方や、素晴らしい友人に影響され、日新館での学びがプラスに働いているのを感じています。

学校行事を通じて成長する生徒たち。

全校合宿







保護者の声

初めての九重合宿、縦割り班で過ごすことで先輩方のリーダーシップを間近で感じ、協力することの大切さを理解する貴重な体験だったと思います。

来年は今年学んだことを活かし、引っ張っていく先輩になってくれたらと思います。

帰宅してから沢山話を聞かせてくれ、とても充実した3日間だったことが伝わってきました。準備はほぼ一人でしていましたし、後始末も親は手伝うことなく出来ていました。縦割りの班で先輩から学ぶことも多かったと思います。学びの多い3日間を経て、これからさらに成長していってくれることを願っています。

体育会







保護者の声

思い出に残る体育会でした。子供達が考え、行動に移し、変更し、やりとげる。みんなの顔がイキイキとして良い笑顔でした。よい経験が出来たなと思います。

生徒だけで作りあげる体育会、ここまでできるのかと感動いたしました。息子は応援団において舞や動きをクラスメイトに教えることに苦心していましたが、「教える」難しさを学べるいい機会となったと思います。

寒稽古







保護者の声

早起きが苦手で寒さにも弱い娘が、寒さに負けず皆勤で寒稽古をやり遂げた姿に大きな成長を感じました。納会後、帰宅して「寒稽古、楽しかった!」と話してくれたことも印象的でした。心身を鍛えた経験を今後の学校生活に生かしてほしいと願っています。

この寒さを乗り越え、心身ともに鍛えられて、たくましく感じました。5日間の達成感からさわやかな笑顔が溢れていました。この経験を学校生活にも生かして欲しいと思います。

KOKURA NISSHINKAN JOUNIOR HIGH SCHOOL PRINCIPLES

生活信条 自主自律 創造立志

じ しゅ じ りつ そう ぞう りっ し



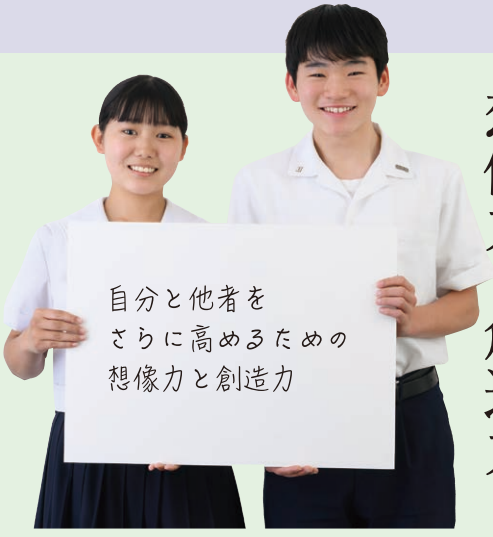
主体性

学習の主体者である生徒自身が、主体性を持って「積極的に取り組む心」を育てます。準備―実行―反省―改善を繰り返しながら、一歩ずつ前進する姿勢と、諦めることなく達成しようとする考えを定着させます。



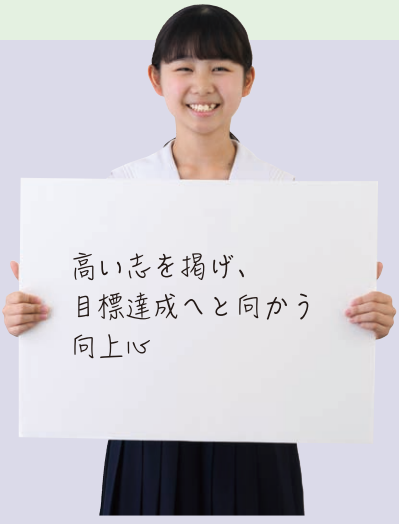
公正さ

社会の規範と社会生活における道徳観念を定着させ、社会人として通用する人材の育成を図ります。自分自身の心を見つめ、善悪の判断をきちんとつけ、どの集団においても通用する人と成りを身に付けることを目指します。



想像力と創造力

常に一歩先を、一歩上を目指して創意工夫する姿勢を備えることで成長を促します。「できない理由はできる理由の裏返し」の精神で、「本気でやれば知恵が出る」ことを実感できるように共に歩む子弟同行を実践します。



向上心

「志荘ならば安くんぞ往くとして学を成すべからざらんや」――志を強く持っていれば、自分自身が目指す学問を必ず成し遂げることができるという考えを心に抱き、常に志を高く掲げ、全力で取り組む心を育みます。

素直・謙虚・感謝の心と自ら考え行動する力



小倉日新館中学校　校長
田中　球磨

昭和50（1975）年の開校以来、50年を超える伝統を持つ私立中学校として、落ち着いた雰囲気の中で教育活動が展開されています。

先生方と生徒たちとの深い信頼関係によって構築されていく様々な学校行事や一緒に創り上げていく規律ある授業、そして安心しあえる友との人間関係。

生活信条「自主自律・創造立志」のもと、「素直な心」「謙虚な態度」「感謝の気持ち」を大切に常に「チャレンジ」することを忘れず、全員で努力を惜しまず前進していく学校。

そんな学校が、小倉日新館中学校であり「勉学」に励むことは勿論の事、将来に向け最も重要とされる「人間力」の向上にも重きを置き「できない」ではなく「どうすればその問題を解決できるか」を自ら考え行動していく学び舎として、今後更なる発展ができるよう教職員と全校生徒が一つに繋がり全力で取り組んでいます。









ACCESS MAP

公共交通が充実し、通学に便利な環境

市内はもとより、下関方面、大分・中津方面、行橋方面、八幡西方面、田川方面など、広い範囲から生徒が集まっています。

●下関方面 ……【普通電車】下関駅→小倉駅（13分）
●大分・中津方面 ……【快速電車】中津駅→城野駅（41分）
【特急電車】中津駅→小倉駅（36分）
●行橋方面 ……【普通電車】行橋駅→城野駅（23分）
【快速電車】行橋駅→城野駅（12分）
●八幡西方面 ……【普通電車】折尾駅→小倉駅（28分）
【高速バス】引野口→三萩野（22分）
●田川方面 ……【普通電車】田川伊田駅→城野駅（38分）

小倉日新館中学校

◎お問い合わせ・学校見学のお申し込み

TEL.093-951-1392

〒802-0062　福岡県北九州市小倉北区片野新町１丁目３-１

http://www.kokuranisshinkan.ed.jp